

平成28年度事業計画

当連盟は、富山県における観光事業の健全な発展及び地域の活性化を図るため、継続的な観光PRの展開と地域情報の発信等、本県観光の振興に関する事業を行い、更なる観光交流人口の拡大を図っていく。

平成27年3月の北陸新幹線開業後、北陸地区への人の流れは大きく変化し、本県観光地等においても大きな開業効果が表れている。本県の観光を取り巻く状況変化を踏まえ、新幹線開業効果を持続、発展させるため、JR・北陸三県等と連携して取り組むとともに、県や市町村等と連携して各種の観光事業を実施していく。

また、新たな観光需要に適切に対応し、選ばれ続ける戦略的な本県の観光地域づくりの推進組織として、当連盟の組織・機能強化を計画的に進めていく。

- 1 「日本版DMO」としての機能強化を目指し、地域の多様な関係者と連携しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを推進するため、旅行者（顧客）データベースの構築・活用、戦略的なマーケティングの実施、着地型旅行商品の造成・販売、ターゲットに応じたプロモーションの実施などに取り組んでいく。
- 2 市町村、市町村観光協会や観光事業者等との連携を深め、県内各地域に存在する魅力ある観光資源を活かした着地型旅行商品の企画販売等を行い、本県への観光客の誘致拡大に努める。
- 3 誘客促進・PR事業については、県や市町村・県内観光協会と十分に連携しながら主要マーケットである首都圏、中京圏、関西圏を中心に、新たに東北方面にも計画的に展開する。
- 4 新幹線開業効果を活用し、JR、北陸三県等と連携しながら、教育旅行の誘致拡大に取り組む。
- 5 「北陸最大のモノづくり県」である本県の産業観光の推進に取り組む。
- 6 外国人観光客の増加を図るため、中国、香港、台湾、韓国、東南アジアやインドにおいて、出向宣伝や新聞広告、招聘事業などの海外誘客活動に取り組むとともに、欧米地域や外航クルーズ誘致にも取り組む。
- 7 本県観光施設等における外国人観光客の受入れ環境の向上を支援するため、複数言語に対応する通訳システムの普及に取り組む。
- 8 各種パンフレットについては、県と連携を図りながら、より効率的な作成に配慮するとともに、観光客の利便性を考慮した内容の充実を目指す。